

## 2. 研修体制

### 1) 新人看護師を支える体制の構築

- 病院管理者、看護管理者は、自施設の理念や基本方針に基づいた新人看護研修が実施できる体制の構築に責任をもつことが必要である。また理念や基本方針を研修にたずさわる全職員と共有することが望まれる。
- 新人看護師の研修は医療機関全体で、取り組むものであり、配置部署においては、直接の指導者だけではなく、いくえものサポート体制が必要であり、組織としていわゆる屋根瓦方式をとることが望ましい。
- 新人看護師が臨床現場に順応し、看護実践能力を獲得するためには、周りの粘り強い支援が必要である。また、新人看護師の過剰な不安を下げるような支援体制として、職場適応へのサポートやメンタルサポート等の体制づくりが必要である。そのため、新人を周りで支えるための様々な役割をもつ人員の体制づくりが必要である。

### 2) 研修体制における組織と役割

研修体制における組織例を図1に示す。

施設の規模によっては研修責任者が教育担当者の役割も担うこともあり、また、教育担当者と実地指導者が同一であるなど、体制は施設により異なるが、どの施設でも、組織内においてそれぞれの役割を担う者がだれなのかを共通に認識できるような体制にすることが必要である。

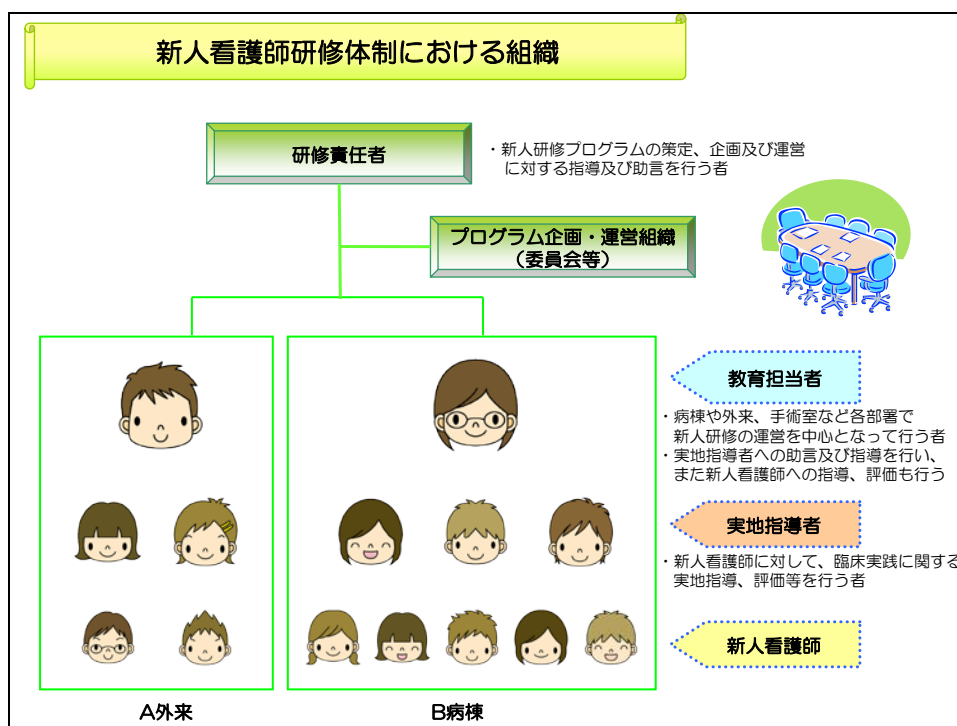


図1 研修体制における組織例